

逗子市リユースモデル事業 報告書

1. 実施するリユースモデル事業の概要

1.1 プランの概要

市役所 1 階市民ホールで開設している不用品交換スペース「エコ広場」をモデルとして、市内 3 地域において出張エコ広場をサテライト会場としてイベント的に開設し、今後の常設または定期的な開催の可能性を検討する。

また、リユースシンポジウム「捨てる！技術、自分らしい生き方」を開催するとともに、市内のリユースショップ等を紹介したパンフレットを作成・配布し、市民に対するリユースの普及啓発を行う。

この事業の推進により、市民団体やリユース業者との連携を図ることにより、市民のリユース気運を高める。

(1) 対象品目

図表 1 は出張エコ広場の対象品と除外品である。

図表 1 出張エコ広場の対象品と除外品

分類	対象品
対象品	陶器・ガラス器、台所道具、日用雑貨、人形・おもちゃ、洋服・靴（洗濯済の新しいもの）、服飾品・バッグ、小型家電（30cm くらいまで）、書籍・絵本、CD・DVD
除外品	スキー・ゴルフ用品、家具、大型家電、食品、カビ・汚れ・壊れのあるもの

(2) 取組の概要

出張エコ広場は、12 月 12 日（金）13 日（土）に市の体験学習施設「スマイル」、1 月 23 日（金）24 日（土）に西友逗子ハイランド店前、2 月 20 日（金）21 日（土）に久木会館の市内 3 地域において実施する。

各会場で不用品の持ち込みと持ち帰りによる無料交換を 2 日間実施し、持ち込みをした参加者に対しては逗子の地域通貨「Zen（ぜん）」と交換できるエコポイント 1 ポイントを発行する。（10 ポイントで 1 Zen（100 円相当）と交換可能）展示する不用品は当日受付のほか、市役所のエコ広場へ提供された不用品の一部を展示する。

イベント当日の持ち込み量及び持ち帰り量は、会場内に設置した受付で品目ごとに計量し、ごみの削減量を計測する。また、来場者にアンケートへの協力を依頼して、イベントに対する感想や今後の利用について把握する。

イベント後に余った不用品については、市役所 1 階市民ホールにて開設しているエコ広場に持ち帰り、展示を行う。

(3) 役割分担

逗子市はイベント全体の進捗・実行管理と、地域の自治会・町内会への広報活動に対するバックアップを行う。市民団体である「逗子ゼロ・ウェイストの会」はチラシを作成し、広報活動を担う。また、イベント当日の運営作業を行うとともに、地域毎のイベントをサポートする地元ボランティアの募集・教育に努める。

1.2 広報・PRの方法

「広報ずし」での案内のほか、会場ごとの開催周知チラシを作成し、市内広報板への掲示及び自治会・町内会での掲示板への掲示・回覧、会場周辺の地域へ戸別ポスティングを実施する。シンポジウムのチラシ・リユースパンフレットは、「広報ずし」とともに全戸配布する。その他の媒体としてタウンニュースを活用する。

また、リユースモデル事業のキャッチフレーズとして、「いいね！リユース」を共通ロゴとして出張エコ広場やシンポジウムなどのイベントチラシだけでなく、宣伝用のノボリにも使用し、イベント会場で「リユース」への関心を高める。

図表 1 「いいね！リユース」ののぼり旗



2. モデル事業の利用状況・効果について

2.1 出張エコ広場の開催

(1) 来場者数、持ち込み・持ち帰り量の実績

来場者数、持ち込み及び持ち帰りの件数・重量の実績を以下に記す。

来場者の属性は、第1回の体験学習施設「スマイル」では子育て世代が、第2回のスーパーマーケット「西友逗子ハイランド店」に隣接するスペースでは主婦層等が、第3回の地域活動センター「久木会館」では高齢者等周辺の住民の参加が多かった。

開催案内チラシを作成し、開催する地域での回覧や自治会等の掲示板への掲示、ボランティアによる各戸配布を行った。さらに、第3回（久木会館）開催では久木小学校の生徒へ配布した。イベント終了後に余った品物については、大部分を市役所のエコ広場で展示し、一部を市

内のリユースショップへ持ち込んだ。

図表 2 出張エコ広場の利用状況実績

	来場者数	持ち込み		持ち帰り	
		件数	重量(kg)	件数	重量(kg)
第1回	437	83	175	189	108
第2回	593	144	364	111	155
第3回	188	99	273	185	170



第1回出張エコ広場 体験学習施設 スマイルの様子



第2回出張エコ広場 西友逗子ハイランド店前の様子



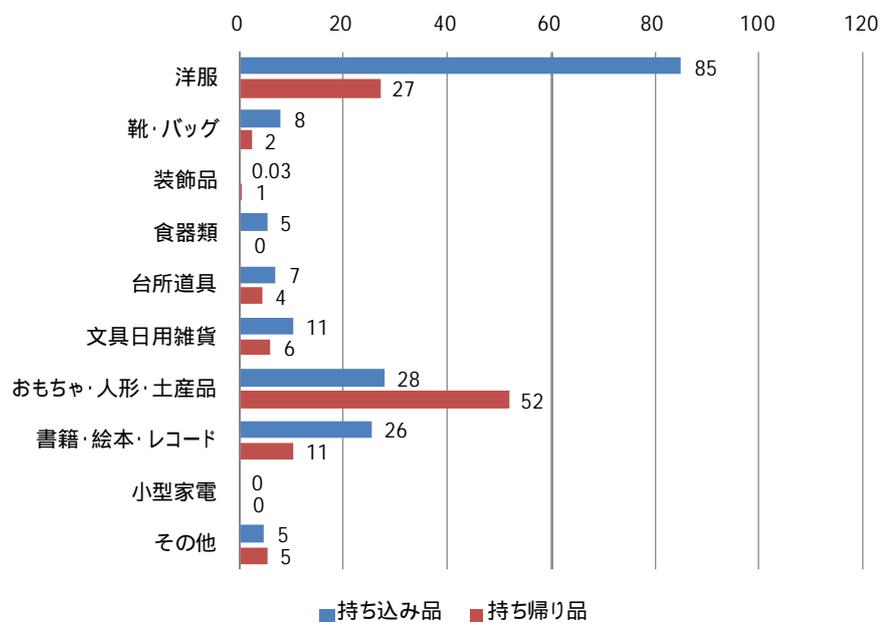
第3回出張エコ広場 久木会館の様子

(2) 持ち込み品・持ち帰り品の傾向

図表4・5・6は、出張エコ広場での持ち込み、持ち帰り量の実績である。出張エコ広場の開催場所によって参加者の属性に違いがあり、持ち込み、持ち帰りされる資源物の種類にも違いが表れた結果となった。

第1回は子連れの参加者が多かったため、洋服、おもちゃ・人形等の持ち込み、持ち帰り量が多かった。

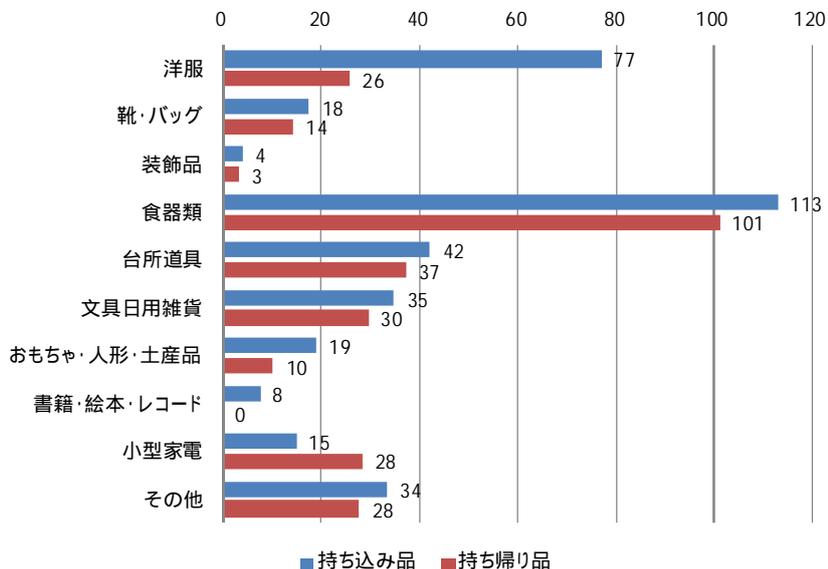
図表 3 出張エコ広場第1回の持ち込み・持ち帰りの量(kg)



* 「おもちゃ・人形・土産品」の持ち帰り量が持ち込み量を大きく上回っている理由は、第1回会場では子連れの参加者が予想されたことから市役所のエコ広場から子ども向けのおもちゃを持ち込んで展示したためである。

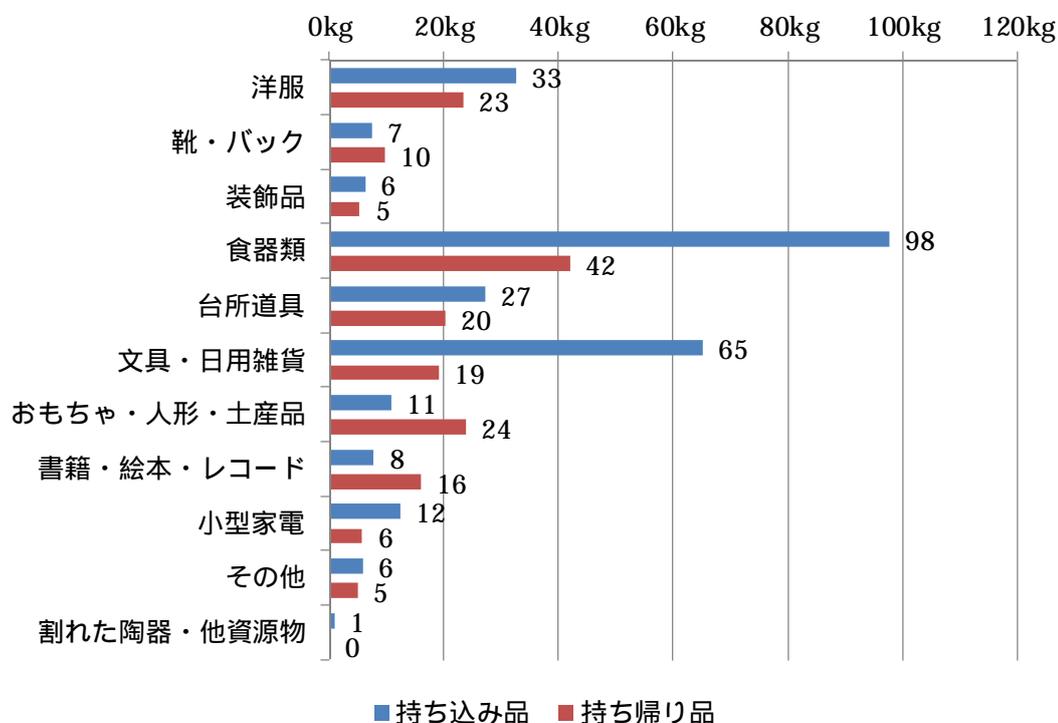
第2回は、スーパーマーケットに隣接していたため、主婦層等買い物客の参加が多く、洋服、食器、台所道具、日用雑貨の持ち込み、持ち帰り量が多かった。また、一日目に来店して開催を知り二日目の持ち込みに至ったケースが多く見られた。

図表 4 出張エコ広場第2回の持ち込み・持ち帰りの量(kg)



第3回は、地域活動センター「久木会館」での開催であったため、来場者は他に比べて少なかったが、自治会での回覧などの周知が行き渡り「持ち込み」「持ち帰り」の量はともに多かった。食器類や台所道具・洋服の持ち込みが多く、食器類の持ち帰りが多かった。文具・日用雑貨の持ち込みもかなりの数量に上っている

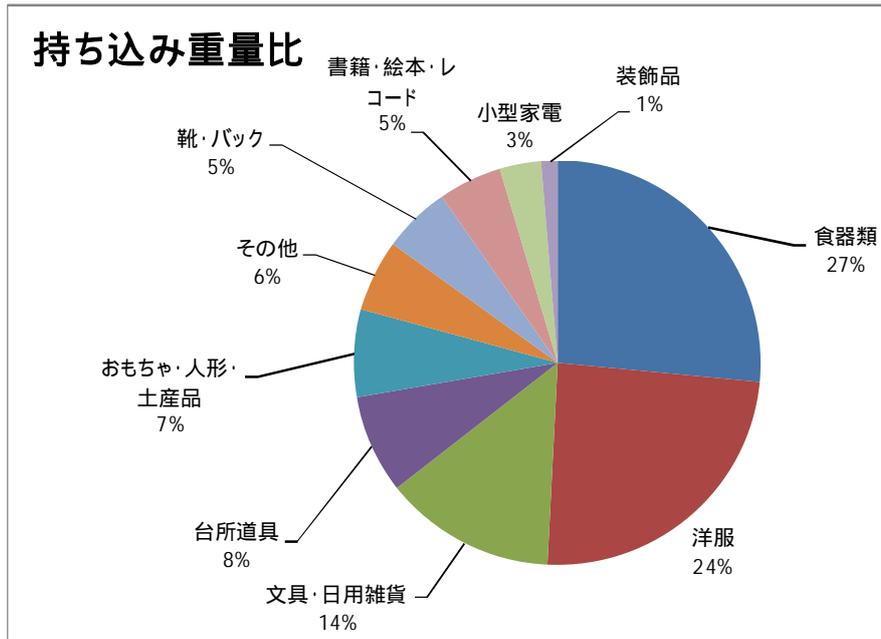
図表5 出張エコ広場第3回の持ち込み・持ち帰りの量(kg)



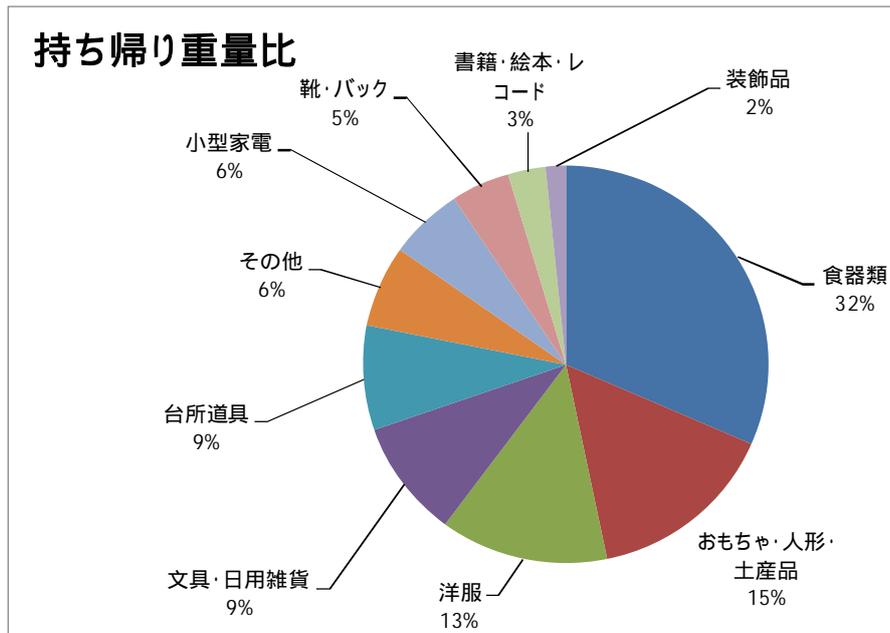
トータルの重量比として、持ち込み・持ち帰りの最も多いのは食器類であった。

逗子は、高齢者家庭が多く、家族人数の減少などにより使用されなくなった食器類や台所用具陶器などの持ち込みが多く見られるが、持帰りもまた一番多かった。若い世代へのリユースの道筋ができたと思われる。洋服類の持帰りは、持ち込みの比率よりかなり低い。デザインの古いものがリユースされにくいことが分かる。おもちゃ・土産品などについては、持ち帰りが多く、リユースされる傾向が見られた。

図表 6 出張エコ広場 3 会場の持ち込み品目の合計量比率(%)



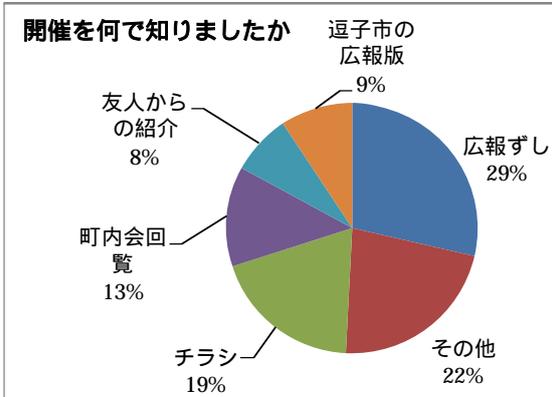
図表 7 出張エコ広場 3 会場の持ち帰り品目の合計量比率(%)



(3) 参加者アンケート結果 (回答者数 259名)

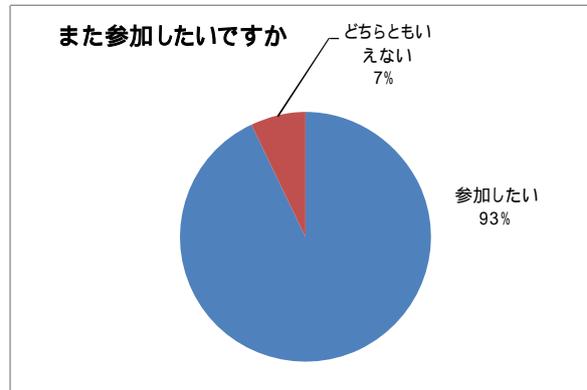
出張広場 (3会場) についての来場者アンケートの結果整理を以下に整理する。

1) 開催を何で知りましたか？



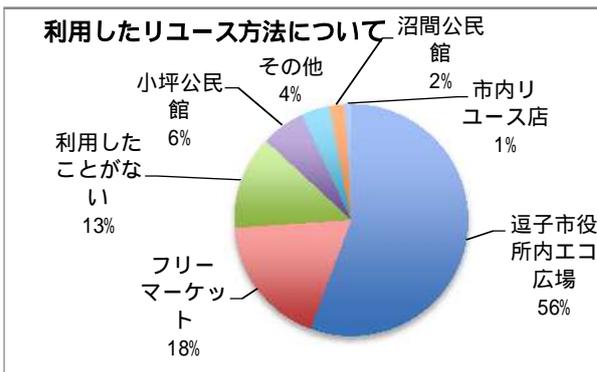
* きめ細かな広報手段に反応している。

2) また参加したいですか？



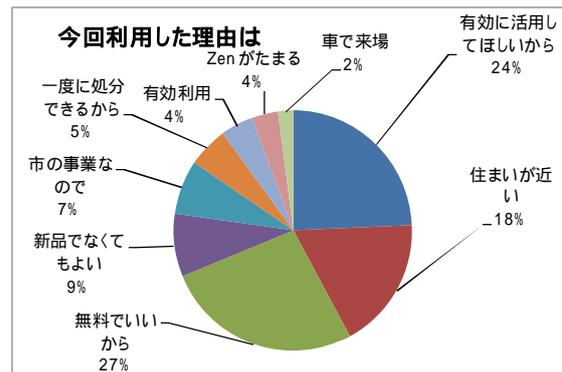
* 大いに好感を得ている。

3) 今回利用した理由は何ですか？



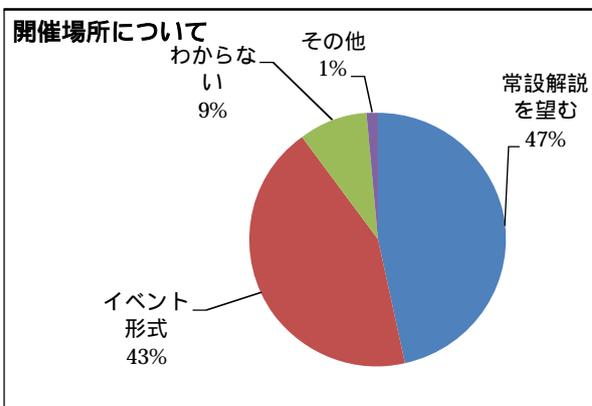
* 住まいが近い。「出張」の効果が見られる。

4) リユースはどこを利用していますか？



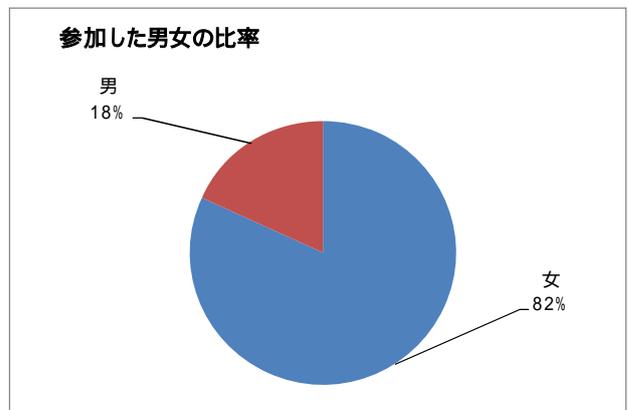
* 利用をしたことがないに注目したい。

5) 「エコ広場ずし」常設開催について



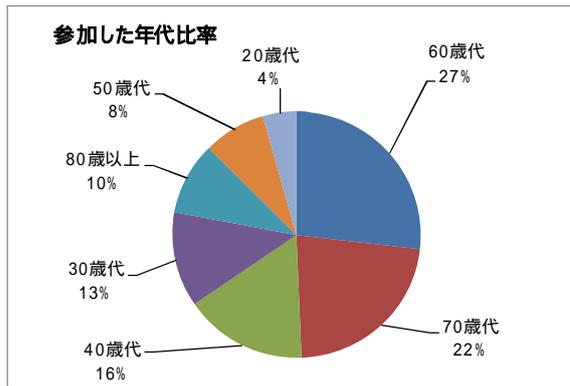
* 何らかの方式での開催が望まれている

6) 参加者の男女の比率



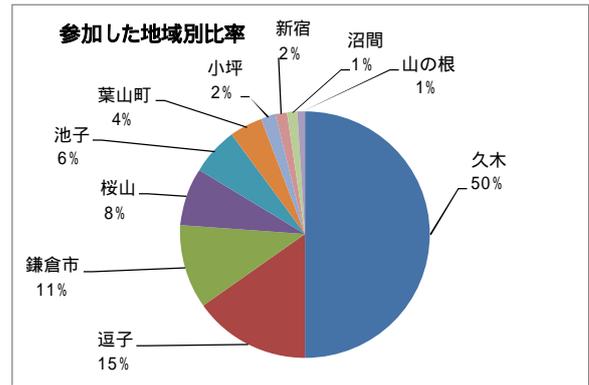
* 男性の参加も多い。

7) 参加者の年代比率



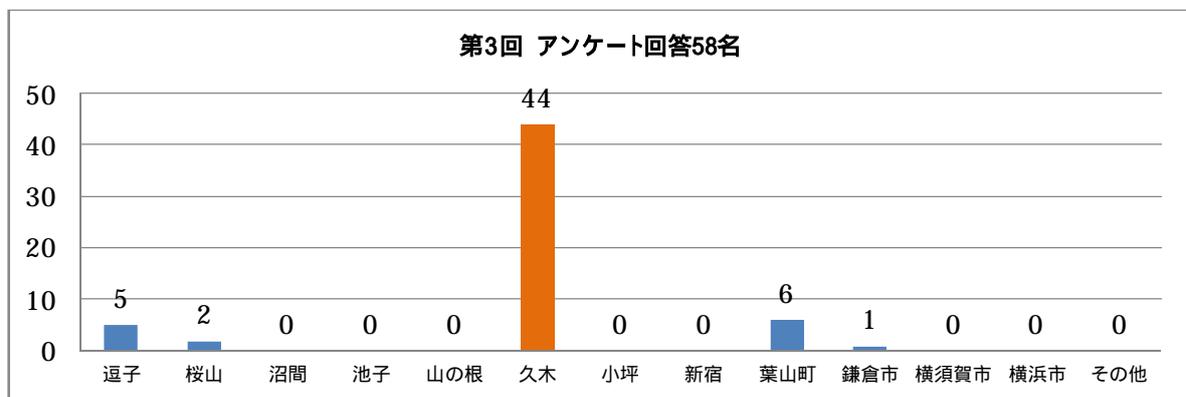
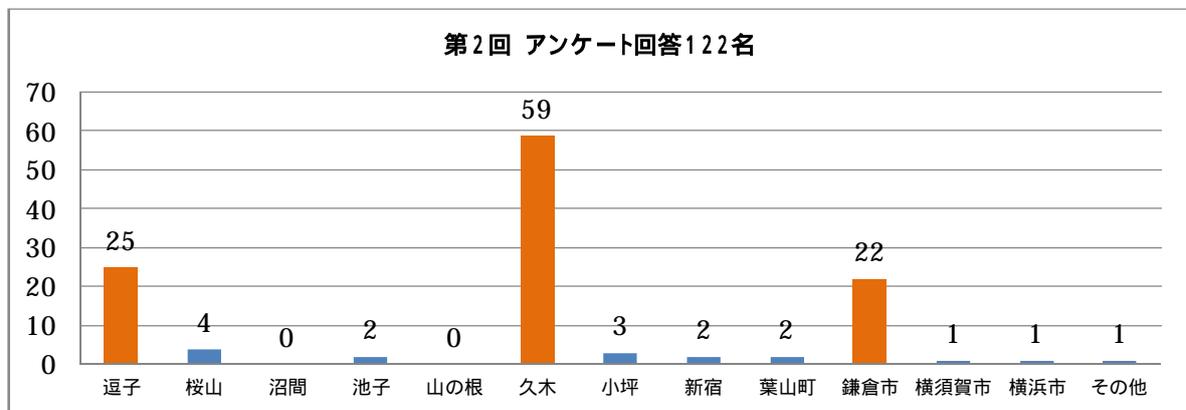
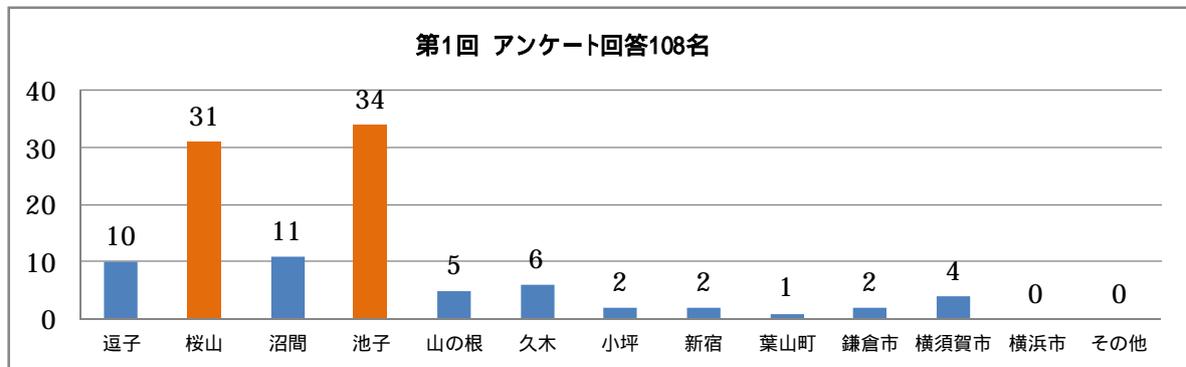
* 半数以上が50歳以上。

8) 参加者の住居地域別人数(全体)



* 久木の参加者が多いのは、久木地域で2回開催されたことによる。

9) 参加者の住居地域別人数(開催地別)



自由記述の意見・要望など

- ・ とてもいい取り組みだと思うので続けてほしい。出張はとてもうれしい。近場で気軽に来られる。
- ・ 住居の近くが良い、足が悪いので出張エコ広場は大助かり。
- ・ 古いものを有効に使い合えるのが良いと思う
- ・ 子ども服など、孫の物は助かっている
- ・ 市役所だけでなく、いろいろな場所で開催されると嬉しい。
- ・ 大きい物・重い物を市役所まで持って行くのが大変。地域で開催してほしい。
- ・ 子供が学校から案内を貰って知った
- ・ 運営される方は大変だと思うが、ぜひ定期的で開催してほしい。

形を変えず(そのまま)再利用するのが「リユース」って、あなたも、みんなも、リユース「生きるとしまじょうろ！」

リユース

小さいお子さん向けのおもちゃや服、お母さん向けのおしゃれな服も無料。みんなで広げようリユース!

出張
エコ広場
@スマイル

12/12 12/13

10:00-16:00

第一運動公園内 池子ほっとスペース付近道広場
体験学習施設スマイル



市役所内で好評のエコ広場「もったいない市」がスマイルに来ます。

エコ広場「もったいない市」は、逗子市のゴミ問題解決のため、特に最終処分場の延命のために始まったリユースの取り組みです。今年3月までの1年間で、市役所開設コーナーと出張合わせて延べ4万人以上が来場し、42トンの不用品がリユース・リサイクルとして活用されました。



環境省リユースモデル事業
主催：逗子市(資源循環課 046-873-1111)
逗子ゼロ・ウェイストの会(松本 090-6488-0708)



エコ広場ずし 検索

エコ広場 もったいない市

使えるものを捨てないで、必要なものもへ

ご家庭の『まだ使えるもの』をお持ちいただき、欲しい人が『無料で自由に』持ち帰る市です。

受付可能なもの				受付不可能なもの	
 陶器・ガラス器	 鍋など台所道具	 日用雑貨	 土産・人形・おもちゃ	 スキー・ゴルフ用品	 器具
 洋服・靴 <small>靴は、1足につき1ペアまで</small>	 アクセサリー	 小型家電 <small>ASCA, mini CPU</small>	 書籍・絵本	 大型家電	 食品

持ってきていただくものは、
自分で使えるようなもの。
かび、汚れ、壊れの無いもの。

ポイントが付きます!
持ってきていただいた方にはエコポイントを差し上げます。10エコポイントで1Zenと交換できます。各公民館もエコポイントカードは共通です。

資源回収コーナーもあります。

割れた陶器、ガラス器、使えない家庭金属、割り箸、アルミ付き牛乳パックを回収します。お持ちください!

逗子市役所1階市民ホールに開設(平日10:00~16:00、市役所開庁時)している他、出張もしています。

出張「エコ広場」スケジュール

沼間公民館
12/5(金)・12/6(土)
1/9(金)・1/10(土)
10:00~16:00
原則第1会場・土曜

小坪公民館
12/19(金)・12/20(土)
1/30(金)・1/31(土)
10:00~16:00
原則最終会場・土曜

西友逗子ハイランド店前 NEW
2015年 1/23(金)1/24(土)10:00~16:00

いいね!リユースシンポジウム

2015年1月18日(日)9:30~11:30
『スッキリ暮らす! 素敵な生き方』

辰巳渚さん 講演会

家事塾 主宰、2000年刊行した「捨てる」技術で消費社会の象徴である「物」に対する新しい哲学を提唱し、同書は130万部のベストセラーになる。

会場：逗子文化プラザさざなみホール

*詳細は広報ずし1月号と一緒に折り込まれるチラシをご覧ください。



形を変えずにそのまま再利用するのが「リユース」。まあ、あなたも「リユース」生活をしましょう！

リユース

2015年10月より燃やすごみ・不燃ごみが有料になります。ご家庭で不用なものを、必要な人に使ってもらうエコ広場「もったいない市」をご利用ください。

出張

エコ広場 @SEIYU

1/23 1/24

10:00-16:00

西友逗子ハイランド店前



市役所内で好評の「エコ広場」もったいない市がハイランドに登場!

エコ広場「もったいない市」は、逗子市のゴミ問題解決のため、特に最終処分場の延命のために始まったリユースの取り組みです。今年3月までの1年間で、市役所開設コーナーと出張版と合わせて延べ4万人以上が来場し、42トンの不用品がリユース・リサイクルとして活用されました。



環境省 リユースモデル事業
主催：逗子市(資源循環課 046-873-1111)
逗子ゼロ・ウェイストの会(松本 090-6488-0708)



エコ広場ずし 検索

エコ広場 もったいない市

代わるものを捨てないで、必要な人のもとへ

ご家庭の『まだ使えるもの』をお持ちいただき、欲しい人が『無料で自由に』持ち帰る市です。

受付可能なもの

 陶器・ガラス器	 鍋や台所道具	 日用雑貨	 土屋・人形・おもちゃ
 洋服・靴	 服飾品・バッグ	 小型家電	 書籍・絵本

受付不可能なもの

 スキー・ゴルフ用品	 家具
 大型家電	 食品

持ってきていただくものは、**自分で使えるようなもの。かび、汚れ、壊れの無いもの。**

ポイントがつかます!

持ってきていただいた方にはエコポイントを差し上げます。10エコポイントで1Zenと交換できます。エコポイントカードは共通です。

資源回収コーナーもあります。

割れた陶器、ガラス器、使えない家庭金物、割り箸、アルミ付き牛乳パックを回収します。お持ちください!

逗子市役所1階市民ホールに開設(平日10:00~16:00、市役所開庁時)している他、出張開催もしています。

ひな人形・五月人形 リユースフェア

1/28(水)~1/30(金)10:00~16:00



ひな人形、五月人形を必要な方に譲ります。期間中に持ち込み願っています。持参できない方は、写真可。

会場：逗子市役所1階市民ホール
申し込み・お問い合わせ：逗子ゼロ・ウェイストの会(松本 090-6488-0708)

いいね!リユースシンポジウム

2015年1月18日(日)9:30~11:30

『スッキリ暮らす! 素敵な生き方』

辰巳渚さん 講演会



家事塾主宰。2000年発行した「捨てる技術」で消費社会の象徴である「物」に対する新しい哲学を提唱し、同書は130万部のベストセラーになる。

会場：逗子文化プラザさざなみホール
*詳細は広報ずし1月号と一緒に折り込まれるチラシをご覧ください。

形を変えずにそのまま再利用するのが「リユース」。さあ、あなたも「リユース」生活をしましょう!

リユース



エコ広場ずし 検索

10月より燃やすごみ・不燃ごみが有料になります。ご家庭で不要なものを、必要な人に使ってもらうエコ広場『もったいない市』。シニアの方もお子さまも、ぜひご家族でお出かけください。

出張

エコ広場 @久木会館

2/20(金) 2/21(土)

10:00-16:00
久木会館内オープンスペース



市役所内で好評のエコ広場。もったいない市が久木会館に来ます。

エコ広場「もったいない市」は、逗子市のゴミ問題解決のため、特に最終処分場の延命のために始まったリユースの取り組みです。昨年3月までの1年間で、市役所開設コーナーと出張版と合わせて延べ4万人以上が来場し、42トンの不用品がリユース・リサイクルとして活用されました。


環境省リユースモデル事業
 主催：逗子市(資源循環課 046-873-1111)
 逗子ゼロ・ウェイストの会(松本 090-6488-0708)

エコ広場 もったいない市

使えるものを捨てないで、必要な人のもとへ

ご家庭の『まだ使えるもの』をお持ちいただき、欲しい人が『無料で自由に』持ち帰る市です。

受付可能なもの				受付不可能なもの	
 陶器 ガラス器	 台所道具	 日用雑貨	 人形・おもちゃ	 スキー・ゴルフ用品	 家具
 洋服・靴 洗濯済みの新しいもの	 服飾品 バッグ	 小型家電 30cmくらいまで	 書籍・絵本 CD・DVD	 大型家電	 食品

持ってきていただくものは、**自分で使えるようなもの。かび、汚れ、壊れのないもの。**

ポイントがつかます!
持ってきていただいた方にはエコポイントを差し上げます。10エコポイントで1Zenと交換できます。エコポイントカードは共通です。

資源回収コーナーもあります。
割れた陶器、ガラス器、使えない家庭金物、割り箸、アルミ付き牛乳パックを回収します。お持ちください!

逗子市役所1階市民ホールに開設(平日10:00~16:00、市役所開庁時)している他、出張開催もしています。

第3回 「エコ広場ずし」まつり

3/21(土祝) 10:00-16:00

逗子市役所1階ホール

祝日に開催! 平日は行きにくいという方もぜひ!

拡大されたお祭り

生ごみや草木類を使って育てた野菜コーナー

修理・修繕コーナー
小型家電修理相談、包丁研ぎ、おもちゃ、傘直しなど。直したいもの持参ください。

お問い合わせ: 逗子ゼロ・ウェイストの会(松本 090-6488-0708) 又はホームページ

キモノリユースフェア
亀岡八幡宮社務所 10:00~13:00
素材として使う方歓迎

楽しいエコワークショップ
古布を使った小物作りや新聞やカレンダーからエコバック作りなど

エコ講座
開催時間は午後となります。講師未定・参加無料

会場に入れてミックスペーパーをお持ちいただくと、再生トイレペーパーをプレゼント!

2.2 リユースシンポジウムの開催

(1) 開催結果

1月18日(日)に逗子市文化プラザさざなみホールでリユースシンポジウム「捨てる！技術、自分らしい生き方」を開催し、約130名が参加した。

平井竜一逗子市長の挨拶の後、第1部では、「いいね！リユース 逗子のまちから」と題して、逗子市内のリユース事情が紹介された。続いて第2部では、辰巳 渚氏から「スッキリ暮らす！素敵な生き方」と題し、大量消費社会における「もの」との上手な付き合い方と、生活にリユースを取り入れる「コツ」についての講演と質疑応答があった。第3部では、市長・辰巳氏・報告者及び聴衆を交えた意見交換が活発に行われ「逗子のリユースショップについて知る事ができた」「今後エコ広場を使ってみたい」等の意見が述べられた。また、リユースパンフレットに掲載されたリユース店(2店)やリユース関連団体(日本リユース機構)の参加、発言もあり、最後に満員の来場者全員により「いいね！リユース」の宣言が力強く行われ、逗子市におけるリユースの機運が高まった。

会場には、逗子市内で営業しているリユース業者の紹介パネルなどの展示コーナーを設け、来場した市民へのアピール効果があった。

図表 9 逗子リユースシンポジウムのプログラム

	内容
第1部	モデル事業報告「いいね！リユース 逗子のまちから」 ・リユースマップ作成のインタビューから見てきたこと 進藤和子(リユースマップ編集チーム) ・ママはリユース上手 村上朝鼓(はっぱの広場) ・エコ広場ずしから「地域」エコ広場へ 松本真知子(逗子ゼロ・ウェイストの会)
第2部	講演「スッキリ暮らす！素敵な生き方」 講師：辰巳渚氏(生活哲學家 家事塾主宰 「『捨てる！』技術」著者)
第3部	意見交換「いいね！リユース 逗子から始めよう新しい風」



基調講演



パネルディスカッション



最後は「いいねリユース！」を宣言

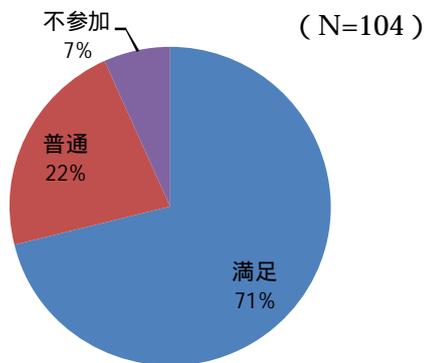


市内のリユース業者等の紹介パネル

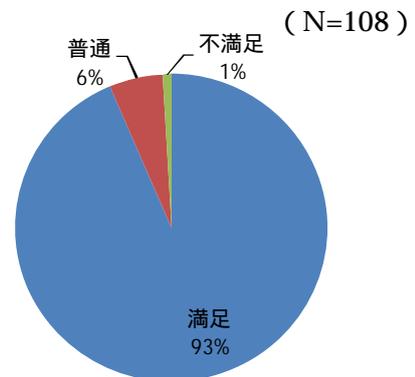
(2) シンポジウムのアンケートについて

参加者 130 名のうち、111 名からアンケートの回答を得た。シンポジウム・講演会に対する反応は、暮らしに役立ったとの回答数が圧倒的に多く、満足度の高さがうかがわれた。比較的高い年代層の参加が多かったが、30代～50代の参加もあり、幅広い年齢層からの関心が寄せられた。

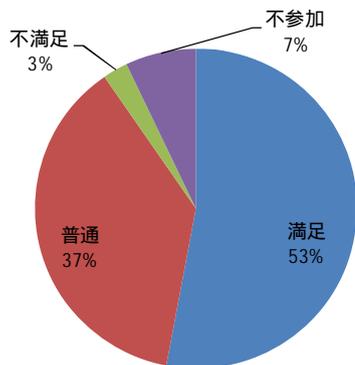
1) 第1部 モデル事業報告について



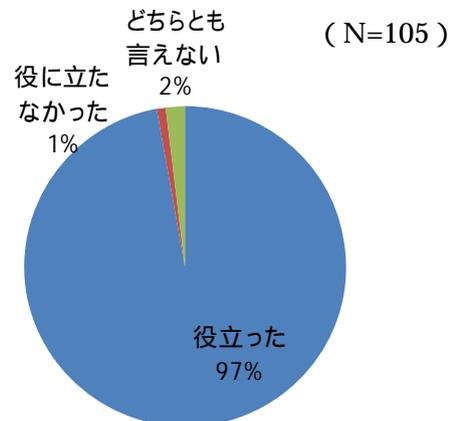
2) 第2部 辰巳渚氏の講演について



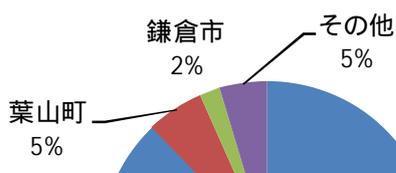
3) 第3部 意見交換について



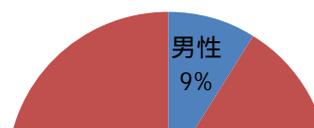
4) 暮らしに役立ちましたか？



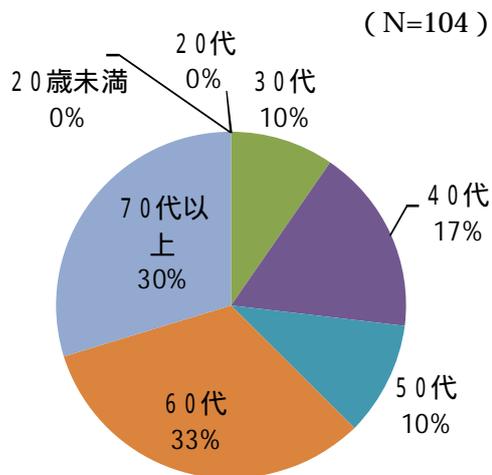
5) 参加者の住居地域



6) 参加者の男女の比率



7) 参加者の年代の比率



感想・意見などが多数寄せられ(78名) 関心の高さや満足度がうかがわれる。以下、抜粋。

- ◇ 市民の関心の高さに驚いた。行政・市民が一体となって取り組んでいくことが大切
- ◇ 始めにチラシを見た時から是非聴講したいと思っていた。早速今日から始めようと思う。
- ◇ 小型家電の回収ボックスがあることを知った。
- ◇ 逗子でのリユース店の紹介・ママの立場でのリユース・逗子市内での取り組みについて知る事が出来よかった。
- ◇ 今後、モノとの付き合いを見直すとても良い機会となった。
- ◇ 遺品整理の事で参考になった。再度開催して欲しい。
- ◇ 小中学生へも分かりやすい方法で教育してほしい。
- ◇ リユースのパンフレットが役にたった。
- ◇ 辰巳さんのお話は、期待通りで、いろいろ考えさせられた。
- ◇ エコ広場をもっと活用してみたいと思った。

いいね! リユース シンポジウム

「捨てる!」技術、自分らしい生き方

1/18 **日曜日**
9:30-11:30
開場 9:15

会場: 返子文化プラザさざなみホール
参加無料 定員: 先着100名

※お申し込み者 連絡先等に出席してください。
※お申し込み - 返子文化プラザは15分前までに会場にお申し込みください。

「捨てればゴミ、分別すれば資源」とよく言われることですね。ではリユース(再利用)とは何でしょう。いろいろな方法を語り合い「自分らしい生き方」に活かしませんか。



辰巳 渚さん (生活哲學家)
家事動主筆、2000年発行した「捨てる! 技術」(宝島社新書)で消費社会の象徴である「物」に対する新しい哲学を提唱し、同書は130万部のベストセラーになる。

Part 1 報告

「いいね! リユース 返子のまちから」

- ①インタビューから見えてきたこと 池藤和子(リユースマップ編集チーム)
- ②ママはリユース上手 奥原あま(ロコマネットワークス)
- ③エコ広場すしから「地域」エコ広場へ 松本真知子(返子ゼロ・ウェイストの会代表)

環境省リユースモデル事業

主催: 返子市 (資源循環課 046-873-1111)
返子ゼロ・ウェイストの会 (松本 090-6488-0708)

WASTE エコ広場すし

Part 2 辰巳渚さん講演

「スッキリ暮らす! 素敵な生き方」



Part 3 意見交換

「いいね! リユース 返子から始めよう新しい風」

*市内リユース業者等のブース・PRもあります。

リユース

エコ広場「もったいない市」
代えるものを捨てないで、必要なものもとへ

「もったいない市」はご家庭の「まだ使えるもの」をお持ちいただき、欲しい人が「無料で自由に」持ち帰る市です。

エコ広場「もったいない市」は、返子市のゴミ問題解決のため、特に最終処分場の延命のために始まったリユースの取り組みです。2014年3月までの1年間で、市役所開設コーナーと出張版と合わせて延べ4万人以上が来場し、42トンの不用品がリユース/リサイクルとして活用されました。



久木会館 2/20(土)・2/21(日) 10:00~16:00

SEIYU 返子ハイランド店前 1/23(土)・1/24(日) 10:00~16:00

スマイル 池子第一運動公園内 12/12(土)・12/13(日) 10:00~16:00

小坪公民館 1/30(土)・1/31(日) 10:00~16:00

沼間公民館 1/9(土)・1/10(日) 10:00~16:00

エコ広場 返子市役所 1F 市民ホール 平日10:00~16:00・市役所開庁時

さまざまな場所への出張もしています!

ひな人形・五月人形 リユースフェア
1/28(水)~1/30(金) 10:00~16:00

ひな人形・五月人形を必要な方に譲ります。期間中に持ち込みお持ちいただけます。

会場: 返子市役所1階市民ホール
申し込み・お問い合わせ: 返子ゼロ・ウェイストの会(松本 090-6488-0708)

「もったいない市」ご利用の際のルール

受付可能なもの: 食器、家具、衣類、おもちゃ、CD・DVD、おもちゃ、おもちゃ、おもちゃ、おもちゃ

受付不可なもの: ストーン・シリング用品、家具、大型家電、食品

2月から秋は新品同様のみ、市役所1F市民ホールでは衣類は新品同様のもののみ展示し、それ以外のものは、適切にリユース・リサイクルします。子ども服は使用したものでも展示し

◎持ってきていただくものは、自分で使えるようなもの、おひ、汚れ、壊れたもの、
◎ポイントがつきます! 持ってきていただいたものにはエコポイントを差し上げます。
10エコポイントで10円と交換できます。エコポイントカードは共通です。
◎資源回収コーナーもあります。割れた陶器、ガラス類、使えない家電品、
折り紙、アルミ缶やペットボトルを回収します。お持ちください!

2.3 リユースパンフレットの作成

(1) リユースパンフレットの概要

市内のリユースショップを紹介するパンフレット「リユース生活のススメ」を作成するにあたり、市内のリユース事業者（14店舗）に掲載について打診したところ、閉店状況にある店舗、掲載を希望しない店舗を除いた、9店舗の協力が得られた。

若い世代にも読んでもらえることを意図して、親しみやすいデザインに編集し、リユース気運を高めるため出張エコ広場のノボリやちらしに使用した「リユースいいね！」のキャッチフレーズをパンフレットにも使用した。

1月18日のリユースシンポジウムにむけて、29,000部発行し、「広報ずし」2月号配布と同時にパンフレットを全戸配付し、掲載協力店にも配架した。

(2) リユースパンフレットの効果

リユースパンフレットに掲載された市内リユースショップに対して、リユースパンフレットの効果についてアンケートを実施した。掲載後の反響について以下に記載する。

掲載店舗からは「リユースパンフレットにより問い合わせや来店も増え、予想外の効果だった」等の意見が寄せられ、市役所1階市民ホールで開催している「エコ広場」との連携に対しても好意的な感触が伺われた。

また、市民からも「これによりリユースショップを知った、利用したい」、等の意見が寄せられた。今後も、このパンフレットを用いて、市内のリユースショップ及び「エコ広場」をPRし、利用者を増やしていくことが重要であると考えます。

店名	利用者からの問合せ・反響
ワットマン逗子久木店	店長からは「掲載されていましたね」等の声がかげられたと聞かすが、詳細は不明。
ブックオフ逗子久木店	電話での問合せが何件かあった。件数はわからないが、問合せがある事自体反響があったと思える。
カモミール	来店者がパンフレットを見て来店したかどうかは不明。
ペチコートレーン	かなりの電話問合せあり。来店数は不明。知人や顧客からパンフレット掲載の報告あり。
今昔きもの 侘助	かなりの手応えを感じている。今までは紹介を介しての来店形式だったが、新規の顧客からの問合せが増え、足が遠のいていた顧客からも何件か連絡があった。自店で引取れない物はエコ広場へと薦めている。
くるくる	配布と同時に問合せの電話多数あり、その後も多い。来店者も増えたが、人数は不明。知人や顧客からもパンフレット掲載について声をかけられた。
八風堂	問い合わせが3件あった他、反響あり。知人や顧客から声をかけられた。客層は中高生が中心であるが、来店者が増えた。掲載に感謝している。
古本イサドととら堂	反響があったかどうか分からない。

リユースパンフレット（表紙（左） 裏面（右））

環境省リユースモデル事業

リユース生活のススメ

リユース

いいね!

エコ広場すし

リユースで活動が楽しめる

REUSE PEOPLE

個性が光るリユースびと

市役所1階にあるエコ広場。ここで見つけた洋服を素敵にコーディネートしているひとがいます。そんな、お二人のファッションをご紹介します。

高永 祥子さん
昔を慕うのは甘味だったという高永さん。ここに出来る洋服など、今まで着たことのない、他がデザインを試してみることが出来るので、楽しんでエコ広場を利用しているそうです。とても上品にまとめているお嬢様です。

浅田 勇理子さん
洋服だけでなく、靴も靴すべてエコ広場でみつけたから、既製衣類的なコーディネートはお返事。着たが着なくなった品物を、再び使うことも出来るかなと考へて、自分のフレッシーカラーを取り入れ活用している。

REUSE CLOTHES

リユースの優等生 古着のゆくえ

ファイバーリサイクルネットワーク「ほろの会」

毎年、春と秋に不要になった古着を集め、回収業者に送る精選の役目をして20年余りになります。道子の拠点ほろが所。それぞれボランティアスタッフが活動しているが、不要の衣服を持ってくるひとがボランティアという考え。質やすゴミを減らしその分現金を使わなくて済むという

ほろの会、活動のあるものは20%がウエス。工業用繊維布に30%が防虫剤や防臭剤に工場で再生され、最終的に織物に返すのはほんの数パーセント。

繊維はリサイクル率の高い資源と知っていましたが、今やファイバーリサイクルは馴染みないことで、エネルギー節約の50%を東南アジアやアフリカへ中古素材として輸出している。日本製衣服は品質が高いので人気!

古着は至！質やすごみとしてしまわずに、リユースブックなどに持って行くか、古着回収に出して有効に利用しよう。

REUSE INTERIOR

リユース品をセンス良く飾る

(左) ガラスのコップ2セットとアイスベル、アイスストップとシェーカーを棚に置いてあります。エコ広場をマメにチェックして、別々に手に入れたもので、手持ちのグラスでは足りなくなるとホームパーティーの時に重宝しています。

(右) フルーツ柄のファイヤークインのコップは、実家で買った40年ほど前のもの。(右) パンダ柄の器は家の敷居で財力が衰えた時にエコ広場で見つけて、即決で購入にも役立っているリユースです。(Y・Aさん談)

REUSE PUBLIC SPACE

エコ広場すし

ゼロ・ウェイストを目指した市民協働事業。捨てるのがもったいないと思ったモノを持ってきていただき棚に並べる。欲しいものがあったら自由に持って帰れる。ただし2月から、物の受けは新品同様の物だけに限定し、それ以外のものは適切にリユース・リサイクルします。手も届く使用した物も展示します。

品同様ものだけ展示、それ以外のものは適切にリユース・リサイクルします。手も届く使用した物も展示します。

● 道子市役所 1F ● 10:00~16:00 ● 市役所開庁日 ● あり ● 046-873-1111 (資源循環課) ● 090-6488-0706 (道子ゼロ・ウェイストの自松本)

出張エコ広場もあるよ!

道子公民館：道子毎月1日・土曜日 小井公民館：道子毎月最終金・土曜日 新次地域：新次火中1

REUSE BOOK

古本リサイクル市

自分なりに持ち込まれた不要の本や図書館の廃棄図書も販売。必要な本があれば自由に持ち帰ることが出来る。買った本は、「もて」で寄付するプロジェクト「リユースブックプロジェクト」に寄付。

● 道子文化プラザギャラリー (開催年2回、2015年は6/28・12/20) ● 10:00~15:00 ● あり ● 046-871-7708 (道徳推進課) ● 道子市

発行：道子市 (資源循環課 046-873-1111) 道子ゼロ・ウェイストの会 (松本 090-6488-0706) 編集：道子市・道子市 デザイン：Reusebook 発行日：2015.1.18

エコ広場すし

環境省リユースモデル事業

3. モデル事業に要した経費

モデル事業に要した経費を以下に整理する。

事業内容	合計	支出項目	支出金額
出張エコ広場	126,000	開催場所3地域ごとのちらし作成・印刷	60,000
		のぼり作成	60,000
		エコ広場会場費(第3回会場)	5,000
		出張エコ広場(第2回)テントリース料	1,000
シンポジウム	486,184	シンポジウム用ちらし等作成・印刷・配布費	213,084
		シンポジウム講師代・会場費	173,100
リユースパンフレット	363,071	逗子市リユースパンフレット印刷費	250,000
		逗子市リユースパンフレット配布費	113,071
効果測定(アンケート)	6,083	アンケート用紙等	5,433
		アンケート印刷費	650
合計	881,338		

3回開催した出張エコ広場での持ち込み量の総量は812kgであり、仮に1kgあたりのごみ処理経費を約52円(平成25年度実績)とすると、約42,000円の経費削減効果と推計される。ごみ処理経費削減効果のみで見ると、出張エコ広場に要した経費を下回っているが、出張エコ広場の開催を通じた市民へのリユースの啓発効果や、地域づくりの効果を踏まえると、経費に見合う効果が得られたと考えられる。また、出張エコ広場の経費の多くは、チラシ、のぼりの作成費用であり、今後開催を継続する場合においては、既存のものを活用することで、より少ない経費での開催が可能になると考えられる。また、チラシの配布は、自治会・町内会の協力により掲示板への掲示、回覧を行った他、ニュース掲載、小学校の協力、ボランティアによる戸別配布を実施したことで、経費を抑えることができている。

リユースシンポジウムのチラシ及びリユースパンフレットは、デザイナーに作成を依頼し、「いいね!リユース」をキャッチコピーとして人目をひくデザインでカラー印刷し、広報ずしと同時に全戸配布したが、リユースシンポジウムの集客、またリユースパンフレットへの反響を踏まえると、市民に対する啓発効果は大きかったと考えられる。

4. 次年度以降の計画について

本モデル事業の取組みは、いずれの場合もリユースに対する地元住民の高い関心と協力が背景としてあげられる。市役所のみでの開設展示から、地域レベルでの出張エコ広場を開催したことは、地域でのリユース促進、ごみの減量につながっただけでなく、地域の人材おこし・モノの流れを通して地域コミュニティの交流を深めるなどの効果も得られた。

4.1 今後の予定

モデル事業での実験的な開催を通して、市民の関心や要望は高いことが伺われ、各地域での出張エコ広場は以下のとおり継続して開催することを検討・予定している。

イ) 体験学習施設スマイル

会場が市の施設であることから、会場使用についての調整が必要だが、子育てボランティアや、施設利用者、近隣の住民からの期待や関心度は高く、同じ敷地に市民プールがあることから、夏期のイベント実施を検討中である。

施設を利用している高校生学生委員会との交流も生まれ、今後連携してリユースのまちづくりをすすめていくことが期待される。

ロ) 西友逗子ハイランド

今回、地元住民がボランティアスタッフとして多く参加し、スーパーも大変協力的であり、5月から奇数月の第3金曜日・土曜日に定期的で開催することとなった。

ハ) 久木会館

自治会や小学校の協力およびボランティアスタッフのチラシ配布により、効果的な周知が図られた。今回開催をきっかけに、6月より年3回程度の定期開催を行う道筋ができた。空きスペースを有効利用して棚を使用し、常設のリユースコーナー（無人）を設置する予定である。

4.2 今後の課題

イ) 持ち込みのルールを確立することが必要である。持ち込む品物は、ごみになるものではなく、誰もが気軽に気持ち良くリユース出来るものに徹底できるかが鍵である。

ロ) 公共の施設での開催は、会場使用料が発生する。継続して開催するには、予算確保がハードルとなる。

ハ) イベント開催後の片づけ、残ったものの処理をどうするか。逗子の場合は市内中央部（市役所）での常設会場「エコ広場」で対応できることがメリットである。今後のリユース事業者との連携を図るうえでも重要である。

ニ) 地域で開催したことにより、新たな利用者が生まれ、更なるリユースの活性化につながる一方で、ボランティアスタッフの確保が難しい。地域の人々の手により、地域でリユースされる仕組みが望まれる。